

議長定例記者会見（H 2 9 . 1 2 . 8 ）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、私から、11月定例会採決結果について報告いたします。

知事提出議案64件のうち、平成29年度青森県一般会計補正予算案を含む議案41件を可決・認定・同意し、報告のみが23件ありました。

議員発議案につきましては、提出された2件が可決となりました。

議員派遣につきましては、海外派遣1件・国内派遣1件が可決されました。

請願につきましては、受理された1件が採択されました。

次に、今定例会開会冒頭でも御報告いたしました。韓国・済州特別自治道議会 申 寛弘 議長の御逝去について、改めて御報告させていただきます。

申議長は、先月22日午前0時23分に病気のため御逝去されました。

皆様御存じのとおり、本県議会と韓国・済州特別自治道議会は、本年8月7日に友好交流協定を締結いたしました。

たが、この協定締結については、申議長の御尽力に負うところが、大変大きかったとっております。

9月に濟州特別自治道議会を表敬訪問した際に、御病気とのことでお会いすることができず、大変心配していたところですが、これから両議会の交流をさらに推進していこうとしていた矢先の訃報に、誠に残念でなりません。

改めて心からお悔やみを申し上げますとともに、私としては、申議長の御遺志を心に刻み、引き続き道議会との友好交流推進に、微力ながら尽力して参りたいとっております。

私からは以上です。

(記者)

今年1年、残すところあと20日余りとなりました。議長就任はもちろんです、今年も様々動きがありまして、再質問の方法も変わるなどしたわけですが、1年振り返って改めて御所感をお伺いします。

(議長)

3月22日に、今お話ししていただいたとおりに議長に就任をして、個人的には本当にあっという間の9か月だったと思います。就任をしてから様々なことに取り組んできたつもりです。特に、今、濟州のお話をさせていただきましたが、中国、それから台湾との定期便の就航について進展があったなど、国際化ということに向けて、さらに一歩二歩と前進した年ではなかったかなと感じて

おります。

（記者）

今年もまだ、ちょっと残っていますけども、来年に向けて何かこういうものに取り組んでいきたいとかいう抱負等ございましたらお願いします。

（議長）

来週から、知事に同行して韓国・台湾に行って参ります。インバウンドも含め、やはり国際化という方向性をさらに強化していきたいと思っています。それから農林水産物に関しても、その強みをさらに生かしていきたいと思っています。後は、いわゆる2025年問題に向けて知事が目指している青森県型地域共生社会の実現、そこも議会としてもしっかりと見据えて取組を進めたいと思っています。

以上です。